

## H.U 看護師

### 佐賀市医師会立看護専門学校 准看護科卒

私は幼少期から看護師になる事を夢としていました。鎮西学院高等学校を卒業後、佐賀市医師会立看護専門学校へ進学しました。学生時代を思い返すと様々な出来事が思い浮かびます。看護の専門的知識を習得出来た事はもちろん、新卒で社会人経験も未経験であった私は人との関わり方等、社会性を身につける事、考え方に大きく成長を感じました。客観的に自分を見つめる事で課題が見え、解決する癖をつけました。私が通う看護学校は働きながら学べるという点が利点であり、勉学で学んだ事を現場で活かす事が出来、実際に目で見ると結びつける事が出来ました。その為仕事と勉強の両立が重要視され、お互いを励まし合い切磋琢磨し励んでいました。学生時代に会える人皆さんがとても親切で沢山助けられました。

一方で、新型コロナウイルスが流行してしまい、学校へ登校する事自体が制限され zoom での講義の毎日が続きました。もちろん実習先の病院の受け入れも断られ、学内実習が続きました。自身の健康管理も重視され、何もかもが制限される毎日でした。

その時私は感じました。勉強嫌だ、実習、記録大変等思っていましたが、実際に制限された時、幼少期から看護師を夢として看護を学びたい私は凄く不自由に感じていました。

そんな中 1 クール 2 週間の計 4 クールの長期実習が始まり、そのうち最後の 4 クール目に実際に実習先の病院で学ばせて頂きました。

看護学生として初めて患者様を受け持ち、緊張が大きく戸惑いとであたふたしましたが、自身で看護を立案し実践から考察までと、患者様から涙を流されながら感謝の言葉を頂き退院まで見送る事が出来、思わず私も嬉しく涙が出ました。これらの事を通して看護師という仕事は患者様 1 人 1 人のニーズに合わせた看護を行う事の重要性、本当に患者様が求めている看護は何か考える事を学びました。又、看護師は患者様と接する時間が長く 1 番に患者様の良くも悪くも変化に気付く必要があると思います。

看護学校卒業後は地元へ戻り、現在は産婦人科で勤務しています。妊婦、新生児の看護や分娩、帝王切開など病棟、外来業務です。産婦人科自体未経験で、戸惑いばかりの日々ですが、学生時代で学んだ事や職場の先輩方に指導を頂き頑張っています。

又、産婦人科は唯一「おめでとうございます」と、生命の誕生に立ち会うといった素晴らしい瞬間を感じる事が出来ます。一方で、悲しい瞬間と向き合う場面等抱えるものは様々ですが、そんな中患者様 1 人 1 人のニーズに合わせた心温かい看護を提供できるように精一杯今後とも日々精進していこうと思います。